

**トレードワルツが、日 ASEAN Open RAN シンポジウムで登壇**  
～デジタル貿易分野を代表し、Open RAN のビジネス活用に向けた議論に参加～

株式会社トレードワルツ

貿易情報連携プラットフォーム「TradeWaltz<sup>®</sup>」を運営する株式会社トレードワルツ(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小島 裕久、以下：トレードワルツ)は、2023年11月1-2日にかけて開催された、総務省主催の ASEAN 各国の局長級等が参加する「日 ASEAN Open RAN シンポジウム」で登壇しましたので、ご報告いたします。



■日 ASEAN Open RAN シンポジウムについて

ASEAN 地域では、デジタル接続性の向上が課題となっているところ、ASEAN 諸国の 5G ネットワーク整備に係る政策課題を共有し、今後の国際協力の在り方及び Open RAN（※1）の活用方策を追求することを目的に、日 ASEAN 友好協力 50 周年に当たる本年に総務省主催にて開催されたイベントとなります。

（※1）Open RAN とは：標準化された無線のアクセスネットワーク(RAN)の仕様をオープンにし、異なるベンダー同士のシステムや機器の相互接続を可能とする仕組み

■トレードワルツのこれまでの取り組み

トレードワルツは今年3月にタイ開催のイベントシリーズで登壇後、6月には、カンボジア・プノンペンで開催された日 ASEAN 友好協力 50 周年記念イベント「日カンボジアの貿易円滑化・デジタル化」に登壇、パネルディスカッションに参加しています（<https://www.tradewaltz.com/news/5628/>）。また、「日 ASEAN 経済共創ビジョン」で発表された「ブロックチェーン技術を活用した、日 ASEAN における商流・物流・金流の貿易手続きデジタル化・連携」の施策に則り、ASEAN 各国と協業し、貿易デジタル化の取り組みを進めています。

関連プレスリリース：<https://www.tradewaltz.com/news/6170/>、<https://www.tradewaltz.com/news/6225/>、<https://www.tradewaltz.com/news/6257/>、<https://www.tradewaltz.com/news/6278/>、<https://www.tradewaltz.com/news/6523/>

今回、弊社はシンポジウム 2 日目に行われた官民パネル「新興技術に係る国際協力」をテーマに行われたパネルディスカッションに参加しましたので、その様子を下記ご報告いたします。

### ■日 ASEAN Open RAN シンポジウム概要

開催日	2023 年 11 月 1 日-2 日
場所	ホテルニューオータニ
出席者	ASEAN：ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム、ASEAN 事務局の局長級等 米国：国務省、国際開発庁 日本：民間企業（株式会社 NTT ドコモ、オリンパス株式会社、株式会社 JTOWER、ソラミツ株式会社、株式会社トレードワルツ、日本電気株式会社、富士通株式会社、楽天シンフォニー株式会社、株式会社両備システムズ）、総務省

#### Day1(11 月 1 日) プログラム

開会挨拶(総務省)
開会挨拶(ASEAN 事務局)
基調講演(総務省)
基調講演(シンガポール)
政策ラウンドテーブル： 5G/Open RAN に係る政策課題・期待
政策パネル： Open RAN 展開の実例及び官民の課題

#### Day2(11 月 2 日)プログラム

基調講演(米国国務省)
官民パネル 1： Open RAN 及び DX の振興策 パネリスト： NTT ドコモ、楽天シンフォニー、日本電気(NEC)、富士通、JTOWER
官民パネル 2： 新興技術に係る国際協力 パネリスト： トレードワルツ、両備システムズ、ソラミツ、オリンパス
閉会挨拶(総務省)

#### <新興技術に係る国際協力 パネルディスカッションについて>

AI・ブロックチェーンなどの先端技術を使う日本の民間デジタル企業が、現状 ASEAN 方面でどのような海外展開・協業を行っているのか、5G/Open RAN をどのようにビジネス活用できるか、それぞれの経験や見解を交換しました。モデレーターとして総務省、パネリストとしてデジタル ID 分野からは株式会社両備システムズ、デジタル通貨分野からはソラミツ株式会社、デジタルヘルスケア分野からはオリンパス株式会社、そして、デジタル貿易分野として弊社が登壇致しました。

各パネリストが行う 10 分間のプレゼンテーションでは、弊社が運営する貿易プラットフォーム TradeWaltz や、ASEAN 加盟国との協業に関する紹介、Open RAN への期待などを発表しました。その後、パネリスト同士で議論を行い、弊社は ASEAN 各国政府に期待することや、ASEAN での提供実績・価格などに関して回答しました。(冒頭の写真はこのパネルの様子)

またトレードワルツは、Day1 のお昼に行われたネットワーキングランチ、及び、夜に行われたレセプションにも参加致し、関係者との交流を深めました。

## [関係者のコメント]

**総務省国際戦略局 国際展開課長 嶋田 信哉**

「日 ASEAN 友好協力 50 周年となる記念すべき本年に、トレードワルツ社をはじめとする優れた技術を持つ日本企業の皆様方の参加を得て、ASEAN の友好国に対し 5G/Open RAN ネットワークで実現できる素晴らしい未来のイメージを提示することができ、大変感謝しております。ASEAN 諸国を含め、世界各国との連携強化、日本の経済成長、グローバルな経済安全保障の確保に向け、日本政府一体となって取り組んで参りますので、今後とも御協力の程よろしくお願いいたします。」

## 株式会社トレードワルツ

**執行役員 COO、CMO 兼 マーケティング&セールス本部長 染谷 悟**

「この度、日 ASEAN Open RAN シンポジウムで登壇の機会を頂きましたこと、心より感謝申し上げます。弊社ではブロックチェーン技術を活用しながら、日本、ASEAN を中心とした貿易実務のデジタル化に取り組んでいますが、Open RAN により貨物に取り付けた IoT センサーなどからの無線情報が高速に日・ASEAN でつながる時代には、貨物の位置情報や在庫状況などがリアルタイムに分かり、パンデミックや半導体不足などの有事の際に、正確なデータを基にして必需品を、日・ASEAN 間でよりスムーズに必需品を供給しあえるようになるはずです。その時代を夢見て、まずは足元、日・ASEAN の貿易情報データ化を着実に進めてまいります。」

## 株式会社トレードワルツ

**執行役員 CEO 補佐 兼 グローバル&アライアンス事業本部長 佐藤 高廣**

「Day1 のネットワーキングランチ、レセプションに参加させていただきました。自由かつセキュアなデジタル社会に向けてインフラが整備されていく事を改めて認識したうえで、弊社としましては貿易 DX による域内貿易と産業の効率化を各国代表の方々と議論させていただきました。」

## ■トレードワルツについて

商号 : 株式会社トレードワルツ

代表者 : 代表取締役社長 小島 裕久

所在地 : 〒100-6036 東京都千代田区霞が関三丁目 2 番 5 号霞が関ビルディング 36 階 WORKSTYLING

設立 : 2020 年 (令和 2 年) 4 月

事業内容: ブロックチェーンを活用した貿易情報連携プラットフォーム「TradeWaltz (注 1)」の SaaS (注 2) 提供

人員数 : フルタイム 63 名

URL : <https://www.tradewaltz.com>

株主一覧: 株式会社 NTT データ / 豊田通商株式会社 / 東京大学協創プラットフォーム開発株式会社 / 住友商事株式会社 / 三菱商事株式会社 / 株式会社 TW Link / 東京海上日動火災保険株式会社 / 豊島株式会社 / 株式会社上組 / 株式会社フジトランス コーポレーション / 三井倉庫ホールディングス株式会社 / 株式会社日新 / 株式会社三菱 UFJ 銀行 / 丸紅株式会社 / 三菱倉庫株式会社 / 損害保険ジャパン株式会社

SDGs への取組み : 弊社サービスは主に 8,9,12,13,15,17 のテーマについての取り組みを推進しています。

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



(注 1) 「TradeWaltz」は日本国内における株式会社トレードワルツの登録商標です。

その他の商品名、会社名、団体名は、各社の商標または登録商標です。

(注 2) Software as a Service の略で、ユーザーがインターネット経由で必要なソフトウェア機能を利用する仕組み

## 本件に関するお問い合わせ先

株式会社トレードワルツ 広報・マーケティング部 担当：染谷、齋藤、中尾

Email : [info@tradewaltz.com](mailto:info@tradewaltz.com)

以上